



辻小学校だより

学校教育目標 ○学ぶ子（知） ○やさしい子（徳） ○元気な子（体）

子供たちと向き合う時間を、豊かに

～デジタル技術の活用と、辻小学校が大切にしたいこと～

校長 近藤 百合

今年の梅雨は雨や曇りの時には、比較的過ごしやすく、日差しが届く晴れの時には暑さが前回と梅雨らしい6月でした。昨年に比べ、気温の上昇がそれほどでもなかったため、日中はぎりぎり休み時間も外遊びができた日が多かったです。外遊びが大好きな辻小学校の子供たちの元気のよい姿が印象的でした。一方で水泳学習は少し肌寒い中でスタートしました。昨年度の暑さを鑑み、1週間前倒しのスタートでしたが、思ったより、気温が上がらなかったです。暑さだけは自然のことで、私たちがなかなか予想できませんが、子供たちは水泳授業を楽しみ、取り組みました。今後、7月は気温が上昇することが見込まれます。子供たちの命を守るという観点から水泳学習の中止も多く見込まれます。「暑いときにプールに入れないなんて」という声も聞かれそうですが、昨今の気温上昇は命を脅かすほどの危険があることをご理解いただければと思います。

新年度が始まり、早3ヶ月。気が付けば、1学期もあと14日間で終了です。子供たちにとっては待ちに待った夏休みも近づいています。

さて、辻小学校では、子供たちの確かな学びを支えるため、教職員の限られた時間を「どこに集中させるか」を考え、工夫を重ねてまいりました。

その一環として、現在3年生以上の算数の評価テストにおいて、今年度「自動採点システム」を導入いたしました。これにより、これまですべて手作業で行っていた丸つけの時間が大幅に短縮されることとなります。しかし、このシステムを導入したのは採点を楽にするということではありません。

採点がスピーディーに終わるからこそ、子供たち一人一人がどこでつまづいているのかをすぐに見つけ、一人一人に応じたきめ細やかな支援を早く送り届けることを可能としました。採点という「作業」をシステムに任せることで子供たちを「指導・支援する」という、プロの教員にしかできない時間を最大化させることになるのです。とはいえ、今年度からの導入ですので、私たち自身も不安な部分があります。今までの紙のよさも十分に理解しております。今年度は紙とデジタルのよいところを使い分けながら活用してまいります。

このことも踏まえ、辻小学校は今年度、校務支援における文部科学省「生成AIパイロット校指定校」の認定を受けました。これは授業で子供たちが生成AIを使用するのではなく、自動採点システムと同様に、私たち教職員が日々の事務作業や教材準備などの「校務」において、AIという最先端の技術を安全に、かつ効果的に活用していくための研究を行うものです。

お便りの作成、行事の企画など多岐にわたる裏方の仕事を生成AIという「心強いアシスタント」に手伝ってもらうことでこれまで事務処理に費やしていた時間をさらに削減していきます。

私たちがこれらのデジタル活用を進める最大の目的は、そこで生み出された貴重な時間を、すべて子供たちへ還元することにあります。これまで以上に目の前の子供たち一人一人の表情や変化に気づき、じっくり話を聞く時間、そして、子供たちがわくわくするような質の高い授業をじっくりと準備する時間を確保し、本校の教育をさらに充実させていくために、新しい技術を取り入れていきます。もちろん生成AIの活用にあたっては「児童の個人名やテストの点数」といったプライバシーにかかわる情報は一切入力しないようセキュリティを厳格に遵守して運営してまいります。

なお、子供たち自身が取り組む夏休みの宿題（読書感想文や自由研究など）につきましては、これまで通り、子供たちが自ら悩み、考え、表現するプロセスを大切にするため、生成AIの安易な利用（文章の丸写しなど）は行わないよう、ご家庭でも暖かい見守りと声掛けをお願いいたします。

辻小学校のホームページを是非、ご覧ください。

学校の教育活動等随時、更新しております。「辻小学校」で検索いただくか、右のQRコードからも、閲覧することができます。

子供たちの日常的な学習の様子もご覧ください。

学校ホームページ <http://tujisyouno.official.jp/>

